



氷裂

hyouretsu

南正剛日展受賞作品展 記念集

氷裂

hyouretsu

南 正剛 日展 受賞 作品展 記念集



作品展 記念集の 発刊に寄せて

美瑛町長 浜田 哲

美瑛町在住の南正剛先生の作品「氷裂2017-1」が、「改組 新 第4回日展(平成29年度)」において特選を受賞されました。

特選受賞に対してお祝いを申し上げますとともに、南先生におかれましては、30年以上前に美瑛町に移住され、現在に至るまでのご苦労と並々ならぬご尽力に対し、心より敬意を表します。

南先生は、今では日本を代表する陶芸家としてご活躍され、作品を通して美瑛町の魅力を発信していただいております。また、「こども陶芸展inびえい」の開催など、美瑛町の行政運営をはじめ、芸術文化、教育の発展に貢献していただいておりますこと、心よりお礼を申し上げます。

昨年(平成30年)の8月に、南先生の代表作である「氷裂シリーズ」をはじめ、美瑛町の厳寒の環境から生まれ、美瑛町のインスピレーションを強く受ける数多くの作品を集めて「丘のまち交流館bi.yell(ビ・エール)」において開催した、「南 正剛 日展 受賞 作品展」は、町民の皆さまをはじめ、美瑛町を訪れる多くの方々に心のこもった作品の素晴らしさをご紹介することができました。作品展の開催にあたりましては、長年、美瑛町でご活躍いただきながら美瑛町内で初めての開催ということもあり、何かとご協力をいただきましたこと、感謝とお礼を申し上げます。

この作品展を紹介した素晴らしい記念集を通して、多くの皆様はその魅力を感じていただくことを切に願っています。

最後になりますが、南先生の益々のご活躍と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、記念集発刊に寄せてのごあいさつとさせていただきます。



作品展 記念集の 制作にあたって

皆空窯 南 正剛

昨年(平成30年8月)「丘のまち交流館bi.yell 1Fギャラリー」で開催した「南 正剛 日展 受賞 作品展」の記念集を制作していただく運びとなりました。

これもひとえに美瑛町はじめ関係者皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

生まれ育った北国の風土が持つ「厳しい冬」を意識し「この地に根ざした陶芸作品とは」をテーマに「氷裂」シリーズを数十年来挑戦し続けております。

作品を制作する上で一人悶々と思ひ悩む厳しい環境であり、制作に行き詰る日々の中、縁に恵まれ芸術院会員武腰敏昭先生に師事させて頂くこととなり、陶芸家を志した当初よりあこがれの舞台である「日展」との関わりを得る事が出来ました。日展の諸先生、諸先輩の作品より多くの刺激やヒントをいただき、独りよがりな制作になりがちな作品を客観視して、問題解決へ導かれる感動を何度も体験させていただいております。このような体験の中で幸いにも改組新第2回日展、改組新第4回日展にて連続特選受賞の栄誉を賜る事となりました。

「日展」との関わりが自分を育て、新たな創作活動のモチベーションとなっていると確信しております。厳しい自然環境下で制作され、紋様が一つ一つ異なる「氷裂」シリーズの作品を多くの皆様を知っていただければ幸いです。

最後になりますが、作品展開催、記念集発刊に際し、多大なご理解とご支援を賜りました美瑛町に対して重ねて心より感謝申し上げます。

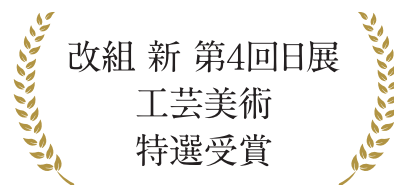
厳しく、美しく、氷点下の記憶



氷裂

厳冬期にはマイナス十度を下回る美瑛の気候。

その寒さを利用し、釉薬中の水分を凍らせることで出来た文様をそのまま焼き付けて生まれた器です。



氷裂2017-1

43 × 30 × 80(H)
2017年

改組 新 第4回(平成29年度)

「氷裂2017-1」特選受賞者・授賞理由

厳寒な自然環境下でしか生れ得ない作品で、凍り裂ける文様と、人為的な文様とを融合させた、難易度の高い深みのある秀作である。



南 正剛
日展 受賞 作品展

日時:2018.8.14(火)~26(日)10:00~17:00

場所:丘のまち交流館 bi.yell 1Fギャラリー





生花制作風景











オープニングセレモニー









佐藤子と子展子館



旧知の方々と







南 正剛 日展 受賞 作品展 概要

本展では「氷裂2017-1」が改組 新 第4回日展にて工芸美術 特選受賞したことを記念し、「氷裂紋シリーズ」の作品を一堂に展示。厳しい自然環境下で完成された、一つ一つ異なる紋様をご覧いただきました。

日時：2018.8.14(火)～26(日)10:00～17:00

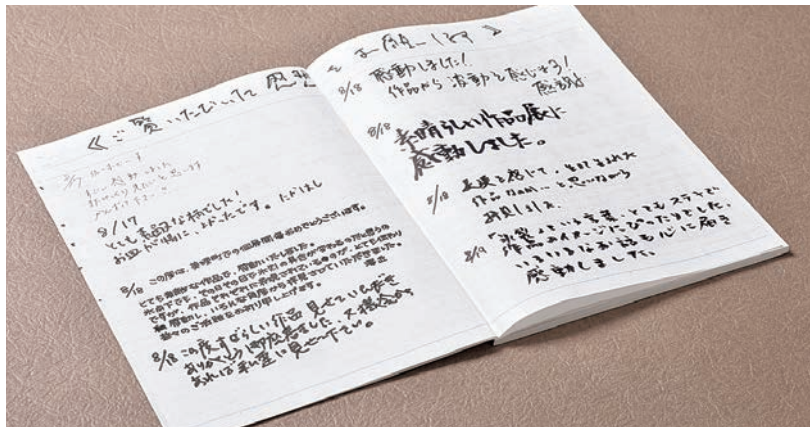
場所：丘のまち交流館 bi.yell 1Fギャラリー

●オープニングセレモニー 8.18(土)9:00～

●入場者数 3,655人

展示中に設置しておりました感想ノートには、多くのご感想やご意見(47筆)をお寄せいただきました。そのすべてのお言葉に励まし続けられています。

以下、感想文の抜粋です。お名前を伏せて掲載させていただきます。



厳しい寒さを作品にとり込み、長い年月をかけて仕上げられた…。一つひとつに不思議さを感じます。見ても飽きることはありません。

創作力・自然の力。すべてが整ったの作品なのですね。只々感動でした。

とても不思議でした。水と釉薬(ガラス)の分離という所が気がつきませんでした。何度も焼きつけをすところ楽しさ、すばらしさ、センスを感じました。

今回DVDにて制作途中も拝見し大変感動いたしました。一つひとつの氷裂の違いの美しさに静かな堂々とした姿を感じ、また次の機会を楽しみに伺いたいと思います。

主催：一般財団法人 丘のまちびえい活性化協会

後援：美瑛町、旭川市、美瑛町教育委員会、一般社団法人美瑛町観光協会、美瑛町農業協同組合、美瑛町商工会、株式会社美瑛選果、北海道陶芸協会、旭川デザイン協議会、凍土会、三浦綾子記念文学館、後藤純男美術館、北海道新聞旭川支社

協力：美瑛町活性化協会・東京びえい会

生花制作：赤坂生花店 東 光代 氏・石井 佳代 氏

花提供：旭川生花市場 代表取締役社長 石井 重人 氏

南 正剛 *seigoh minami*

- 1952年 札幌生まれ
1972年 大学中退後日本各地、インド、中近東、ヨーロッパ各国遊学
1981年 愛知県立瀬戸窯業高等学校陶芸専攻科卒業、瀬戸市に「皆空窯」開設
1983年 美瑛町白金に「皆空窯」移設、日本クラフト展、朝日クラフト展、朝日陶芸展など以後毎年出品
1988年 第35回日府展全国区新人賞、北海道クラフト・グランプリ優秀賞「北の生活産業デザインコンペ」以後毎年出品（銅賞、奨励賞）
1989年 '89金沢工芸大賞コンペティション奨励賞
1990年 北陸中日美術展商工会会長賞受賞
1993年 第3回日工会展受賞
1994年 日展初入選以後11回連続出品
アートスピリッツホッカイドウビエンナーレ94～95出品
1997年 陶芸ビエンナーレ出品
1998年 第7回日工会展企画展示特別賞受賞
1999年 朝日現代クラフト展招待出品
2003年 日本陶芸展出品、雪のデザイン賞展奨励賞、'04奨励賞
2005年 日本現代工芸美術展出品
「LANEJGE SNOW GALLERY」出品
2011年 第43回日展出品
2014年 改組 新 第1回日展 以後毎年出品
2015年 改組 新 第2回日展特選受賞
2017年 改組 新 第4回日展特選受賞

現在／日展会友、北海道陶芸協会賛助会員、旭川デザイン協議会会員



皆空窯 *kaikukiln*

〒071-0235 上川郡美瑛町白金

tel.0166-94-3354

●営業時間 8:30～17:00(12月～2月は要予約)

●定休日 毎週火曜日(祝日は除く) ※7・8月は無休

🔍 www.kaikukiln.com





記念集 発刊後記

皆空窯 南 正剛

今回の記念集発刊にあたり、美瑛町はじめ多くの皆様にご指導、ご支援を賜り感謝申し上げます。守谷光代制作「展示会場写真集」が記念集発刊のきっかけとなっており、展示会場写真や校正作業等でも多大なるご支援をいただいた写真家 守谷光代様に感謝申し上げます。又 記念集校正上必要と思われた写真の提供を山崎一氏よりご提供を受けたこと及びデザイン、印刷を手掛けて頂いた須田製版様にも重ねて感謝申し上げます。

地域に根ざした「陶芸とは」を今後もテーマとして制作に邁進し、同時に将来を担う子どもたちに「創造の喜び」を感じる場を提供したく6年前より行っている「子ども陶芸展 inびえい」の活動を継続していきたいと思っております。

今後とも皆様の変わらぬご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



子ども陶芸展 in びえい



ピースポール展示風景

南 正剛 日展 受賞 作品展 記念集

2019年3月1日 発行

発行者 一般財団法人 丘のまちびえい活性化協会

監 修 南 正剛

写 真 守谷 光代

山崎 一

印 刷 株式会社須田製版

本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を超え、
無断で複写、複製、転載、あるいはデータに変換することを
禁じます。





Spinandi

DESCENTE
PERSONAL DISPERITION